

兵庫県

兵庫県立柏原高等学校

坂本秀史先生



高3

▶ 長文読解 徹底演習 3セットワークアウト！【高校標準編】

複数のアプローチにより長文読解力を高められる！

『3セットワークアウト！』は一つの長文に対して三つのSetに分かれていて、各Setの問題を連続して解くことで、生徒に内容を深く理解させることができ、定着もさせやすいと考え採用を決めました。また、「語句テスト」も複数の形式の問題があるので、新出単語の学習が単調にならず、語彙をしっかりと身に付けさせられるのもポイントです。

授業では、テキストの順序通りに進めるのではなく、Topic1のSet1の学習後、すぐに同じTopicのSet2、Set3と続けて取り組ませます。指定した時間で問題を解かせ、その後解答解説を読ませながら重要ポイントを説明。特に、長文内で使われていた文法について解説をして、生徒の理解力を促進させるようにしています。また、各Topicの新出単語や本文の音読活動も実施。「語句テスト」にある単語を「日→英」「英→日」で音読を行い、チェックリストを使いながら覚えていない単語の確認をさせます。本文ではコーラスリーディング、オーバーラッピング、バズリーディングを行い、音読による英文の定着を図ります。Setごとに進め、音読活動を取り入れることで英文の内容が記憶に残り、生徒も意欲的に取り組んでくれています。これからは本教材の各Setのように幅広い視点で問題を見ていき、生徒にはさまざまなパターンの問題に慣れさせていきたいです。

① 最も指導に役立ったこと

英文を読み込む回数を重ねることで、深い内容理解につながれる

教材の使用方法について

○授業で使用

2学期に週2回、リーディングの授業で使用

テストの実施方法について

○1回の範囲、問題数

4～5Topic分 (Set1～3の全てが範囲) を
定期テストで出題

○問題の種類

テキスト内の問題、オリジナル問題



2015年6月現在